

第123回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ (教区御遠忌テーマ)

まなこ
『眼をひらく 心』
こころ
をひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日 時	2014年9月20日(土) 午後6時30分～8時30分	
講 師	瓜生 崇 氏 (玄照寺住職)	
講 題	「南無阿弥陀仏の中の人生」	
日 程	午後6時30分	真宗宗歌・正信偈 (同朋奉讃式)
	6時45分	講 義
	8時15分	質問の時間
	8時30分	恩徳讃・閉会



講師紹介

瓜生 崇 (うりゅう たかし)

1974年東京生まれ。電気通信大学在学中の1993年に浄土真宗親鸞会に入会。1998年より同会の専従の講師として布教やインターネット対策にかかわり、2005年に脱会。その後はウェブエンジニアとして働く傍ら、自身の体験を元に講演活動や脱会者へのサポートを通じてカルト問題に関わる。現在、日本脱カルト協会 (JSCPR) 理事、大阪大学キャンパスライフ支援センター招聘教員、真宗大谷派青少年センター研究員、玄照寺 (滋賀県東近江市) 住職。

先生からのメッセージ

私はごく普通のサラリーマンの家庭に生まれ、紆余曲折の中で僧侶の道を歩むことになりました。

「私がどこから来たのか、私は何者か、私はどこへ行くのか」、この問いに悩み、模索する若者だった私が南無阿弥陀仏に出会う歩みを通じて、親鸞聖人の教え、お念仏とご信心についてお話したいと思います。